

平成20年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

平成21年7月
独立行政法人福祉医療機構

1. 随意契約見直し計画と平成20年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

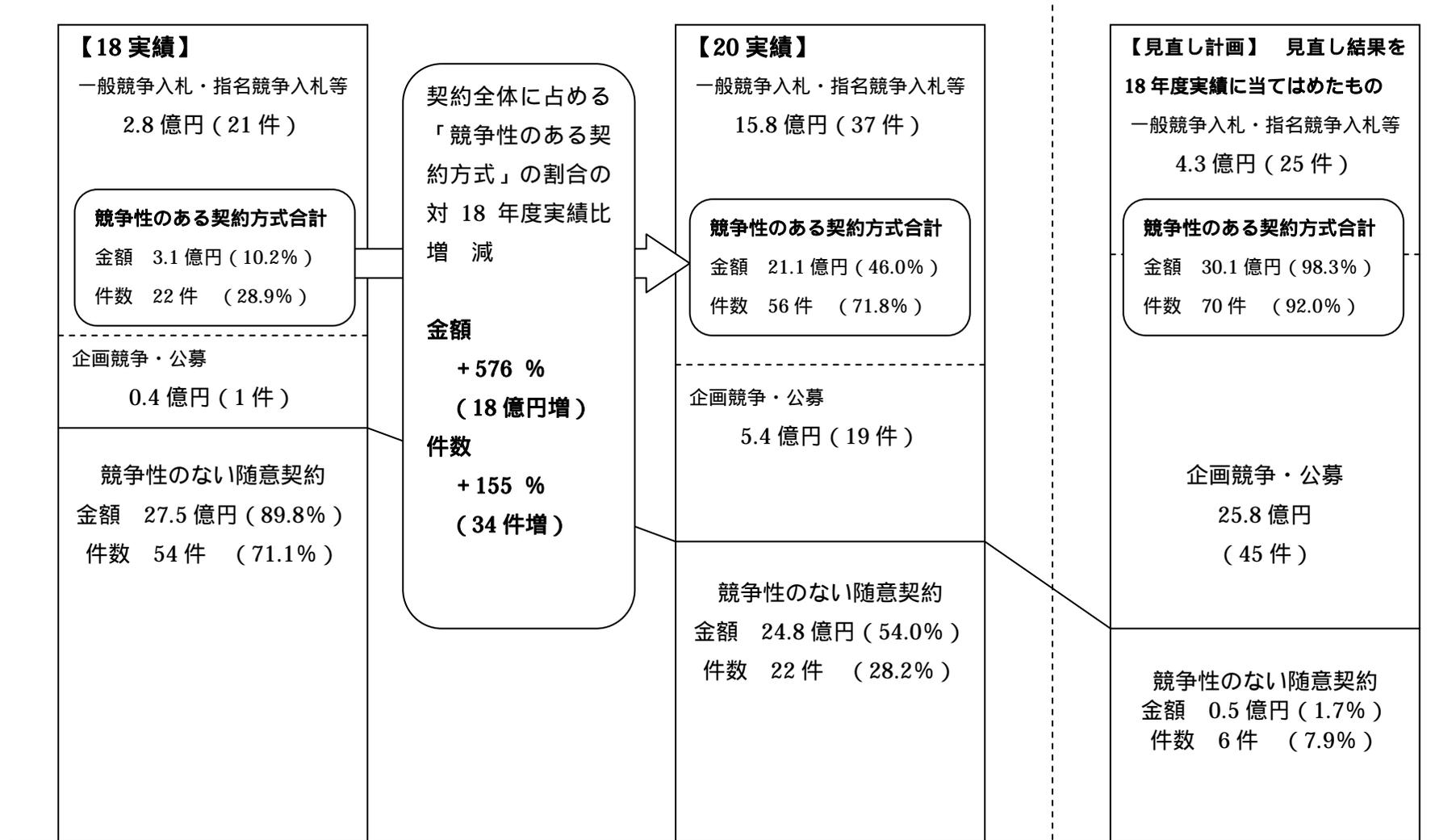
	平成18年度実績		平成20年度実績		比較増 減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(27.6%) 21	(9.0%) 2.8	(47.4%) 37	(34.3%) 15.8	(76.2%) 16	(471.2%) 13.0	(32.9%) 25	(14.1%) 4.3
企画競争・公募	(1.3%) 1	(1.2%) 0.4	(24.5%) 19	(11.7%) 5.4	(1800.0%) 18	(1365.4%) 5.0	(59.2%) 45	(84.2%) 25.8
競争性のある契約 (小計)	(28.9%) 22	(10.2%) 3.1	(71.8%) 56	(46.0%) 21.1	(154.5%) 34	(576.4%) 18.0	(92.1%) 70	(98.3%) 30.1
競争性のない 随意契約	(71.1%) 54	(89.8%) 27.5	(28.2%) 22	(54.0%) 24.8	(-59.3%) -32	(-9.5%) -2.6	(7.9%) 6	(1.7%) 0.5
合 計	(100.0%) 76	(100.0%) 30.6	(100.0%) 78	(100.0%) 46.0	(2.6%) 2	(50.3%) 15.4	(100.0%) 76	(100.0%) 30.6

(注1) 計数はそれぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増 減の()書きは、平成20年度の対18年度伸率である。

(注3) 見直し計画の「競争入札等」の25件、4.3億円には、随意契約見直し計画(平成19年12月)において「事務・事業を取り止めたもの」に区分した2件、1.5億円を含む。

(参考) 図表 随意契約見直し計画と平成 20 年度に締結した契約の状況



(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 平成20年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

平成20年度において競争性のある契約に移行した主な契約は、次のとおりとなっている。

- ・一般競争に移行 年金住宅融資業務回収処理システムのホスティングと運用保守業務 2.6億円
(一般競争に移行した契約合計 7件、8.8億円)
- ・企画競争に移行 月刊広報・情報紙「WAM」の編集・発行業務 0.3億円
(企画競争に移行した契約合計 1件、0.3億円)
- ・公募に移行 経営分析参考指標策定システムに係るシステム変更 0.7億円
(公募に移行した契約合計 11件 3.5億円)

競争性のある契約については、平成18年度と比較すると、件数ベースで22件(28.9%)から56件(71.8%)に、金額ベースでは3.1億円(10.2%)から21.1億円(46.0%)と増加しており、同計画を着実に実施したものと考えている。

なお、当機構の随意契約見直し計画では、「平成18年度随意契約中、業務システム最適化に係る契約が大半を占めていることから、これについては、最適化の検討結果を踏まえ、平成20年度以降可能なものから、一般競争入札等に移行する。」等としており、現在鋭意実施しているところである。

(参考)

1. 契約形態別応札者数(平成20年度)

契約形態 応札者数	一般競争入札		指名競争入札		企画競争		公募	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2者以上	28	75.7%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%
1者以下	9	24.3%	0	0.0%	2	66.6%	16	100.0%
合計	37	100.0%	0	0.0%	3	100.0%	16	100.0%

2. 一者応札、一者応募に係る改善方策(URL http://www.wam.go.jp/wam/supply/main_12.html)